

少人数を意識した授業等について

【児童生徒の実態】

- ・ 留学制度や特認制度による転入の児童生徒が7割
- ・ 前籍校での育ちや学習状況等の円滑な移行に心掛け、学校生活の安定化を図る必要性
- ・ 全体的に思考力・判断力の向上を図りつつ、基礎・基本の定着の徹底が重要

■ 個に応じた授業→1人学級,2人学級の本校は,授業自体が個別具体になるのが必然 指導案作成時(例)

「児童生徒の実態や思考の流れを踏まえた授業展開となるべき」という考えから配慮事項を明確化

＜児童生徒名 POINT＞
思考を広げる声掛けが必要なので、既習学習と関連付けて考えるよう促す。

指導案に示すことで、日常的に教材研究（行事等の諸活動も含む）における意識の持続化が図られる。

- 苦手意識が強い教科等で「がんばれた」という達成感へ
- できることが増えて「うれしい」という成功体験へ

■ 職員等との関わりと基礎基本の定着

【中学校の職員に音読やでき映えチェック】 【家庭学習の見取り】

【即席わりばし鉄砲教室】



油井の豊年踊りの練習の場において、子どもたちも大人に交じって演目の習得をさせていただいています。
このように、たくさんの関わりを得ています。



■ 実験や体験活動は専ら活動量が増加



ダンボールで自分たちの町を作ってみた。2～4年生の4人で制作！

「おもちゃまつり」で賞品を2年生2人で作ってみた。



理科の実験中。器具をいろいろ操作しながら、常に、実験の主体となって取り組んでいます。



ビブリオバトル大会も朝の15分活動で実施可能！